# CHO-CD206

305981

□要

□明

□責事項：細胞株の表示価格は、学術機関および非営利団体のお客様のみを対象としています。営利団体のお客様の場合、価格は約6,250ユーロとなります。
営利団体に所属されている場合、またはどちらのカテゴリーに該当するかご不明な場合は、
弊社までお問い合わせください。

CHO-CD206細胞は、ヒトCD206（マクロファージマンノース受容体 1（MRC1）としても知られる）を安定的に発現するように改変された、組換えチャイニーズハムスター卵巣（CHO）細胞です。CD206はI型膜貫通C型レクチン受容体であり、主にマクロファージ、樹状細胞、および特定の内皮細胞集団に発現しています。 この受容体は、病原体、糖タンパク質、および細胞外マトリックス成分に一般的に見られるマンノース、フコース、N-アセチルグルコサミン含有糖複合体の認識を通じて、エンドサイトーシスおよびファゴサイトーシスを媒介します。CD206は、代替活性化（M2様）マクロファージと強く関連しており、抗原取り込み、組織リモデリング、□疫調節、および内因性糖タンパク質の除去において重要な役割を果たしています。

CHO-CD206細胞は、CD206を標的とする抗体、糖鎖結合リガンド、ナノ粒子、およびマクロファージ標的治療システムの特性評価において、□疫学、感染症研究、および標的薬物送達研究で広く使用されています。 この安定な組換え発現系により、受容体-リガンド相互作用、マンノース依存性取り込み機構、受容体の内部化、およびエンドサイトーシス輸送の定量分析が可能となります。これらの細胞は、マンノース修飾された薬剤キャリア、イメージングプローブ、抗体薬物複合体（ADC）、およびマクロファージ標的□疫療法の評価に特に有用です。 腫瘍学および炎症研究において、CHO-CD206モデルは、腫瘍関連マクロファージへの標的化や □疫抑制性微小環境の調節に関する研究も支援します。一般的な応用例には、フローサイトメトリー、リガンド取り込みアッセイ、共焦点イメージング、およびハイスループットスクリーニングプラットフォームが含まれます。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 卵巣 |
| 病気 | チャイニーズハムスター卵巣細胞、非腫瘍性； CD206（MRC1／マンノース受容体）の表面発現を目的とした遺伝子改変細胞 |

用途

抗体スクリーニング；マクロファージ生物学の研究； CD206を標的とした治療法の開発；マンノース受容体の研究；フローサイトメトリー

分類

| | |
|---|---|
| 生物 | チャイニーズハムスター |
| セックス | 女性 |
| 成長特性 | 付着状態および浮遊状態 |
| **GMO**の有無 | GMO-S1 |

**GMO**のステータスに関する詳細

GMO-S1: This CHO cell line contains a CD206 expression cassette supporting receptor-function analyses. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

| | |
|---|---|
| バイオセーフティレベル | 1 |

特徴

| | |
|---|---|
| 形態学 | 上皮様 |
| 細胞の種類 | 卵巣の上皮細胞 |
| 倍増時間 | 約14～16時間 |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

CHO-CD206（Cytion カタログ番号 305981）

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 10029 |
| セロサウルス | CVCL_A8V7 |

## 発現と感受性

発現している受容体

CD206

## 取り扱いと飼育

培地

接着培養用DMEM:Ham's F12 (1:1)＋3.1 g/L グルコース、2.5 mM L-グルタミン、15 mM HEPES＋0.5 mM ピルビン酸ナトリウム、1.2 g/L NaHCO3 (Cytion article number 820400a)
懸濁培養用CHO増殖培地A（InSCREENeX社製、InSCREENeXカタログ番号INS-ME-1039）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37℃＋5%CO2、加湿雰囲気。 |

サプリメント

接着性培養の場合培地に5%FBSを添加する。最終濃度が0.5 mg/mLになるようにGeneticin（G418-Sulfat）を添加する。

| | |
|---|---|
| 解離試薬 | 接着培養用トリプシン-EDTA |

継代培養

通常の接着細胞培養の場合：付着細胞から古い培地を吸引し、 PBSで洗浄して残存培地を除去する。 PBSを吸引した後、培養容器のサイズに応じて適切な量の Trypsin/EDTA溶液を加え（例えば、T25フラスコなら1ml＋T75フラスコなら3ml）、室温または37℃で5~10分間、あるいは細胞が剥離するまでインキュベートする。顕微鏡で剥離を観察し、必要なら容器を軽くたたいて細胞を離す。いったん剥離したら、完全培地を加えてTrypsin/EDTAを失活させ、細胞を静かに再懸濁し、細胞懸濁液のアリコートを新しい培地の入った新しい培養容器に移す。容器を 37℃＋5%CO2に設定したインキュベーターに入れ、 2~3日ごとに培地を交換する。

| | |
|---|---|
| 分割比率 | 1~5 |
| 播種密度 | 2~5 × $10^4$ 細胞/$cm^2$ |
| 流体の更新 | 週2~3回 |
| 解凍後の回復 | 解凍後、T25フラスコに1:2~1:3の割合で細胞を分割し、少なくとも 24時間、細胞を凍結から回復させ、接着させる（接着培養の場合）。 |

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性
マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地 凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（FBSを含む）＋10％DMSO、または回

復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含むCM-1（Cytionカタログ
番号800100）を使用している。

保管条件
長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件
凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢 アダルト

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。

詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

第三者との契約が適用されます Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

3 / 3